

岡山県総合文化センターニュース

県内図書館めぐり Part 芳井町立図書館



岡山県南西部に、縦長く南北に伸びた芳井町は、天神峡をはじめとした、美しい自然に囲まれた静かな町です。

芳井町立図書館は、平成八年三月一日、町が、住民の生涯学習をサポートする施設として、この町のほぼ南端に建設した芳井町民会館に併設オープンしました。

二階建の建物の西側部分が図書館で、一階は幼児・児童主体、二階は一般対象のこじんまりした感じの造りとなっています。

すぐ北には、芳井町役場・歴史民族資料館・中央公民館・芳井小・中学校等の主要な施設が立ち並んでいます。

このように、周囲の環境から言えば、図書館としての立地条件に恵まれているようですが、利用者の約七五パーセントが町の南三分の一に住む町民で占められている現状があり、これが今後の大きな課題であり、又、併設館ならではの活動も、漸次、試み中です。

所在地 〒771-0411 二二二一

後月都芳井町吉井四〇五八一

電話 (〇八六六七二) 一七〇〇

蔵書冊数 約二万三千冊

貸出冊数 約二万一千冊

(町民一人当たり 約三、二冊)



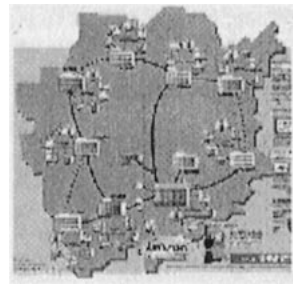
感動 未来へ おかやま

メディアアセンターとしての図書館

県立図書館の基本構想の答申がまとめられ、新県立図書館は、県民のニーズと時代の変化に適切に対応しながら県民の自主的な学習・文化・余暇活動を支援する、二十一世紀にふさわしい施設として整備する必要があるとされています。そして、その「基本的性格について」の中で、『メディアアセンターとしての図書館』という位置付けが明記されました。

これは岡山県の重要施策であるところの「岡山情報ハイウェイ構想実現」における重要な情報発信基地として、図書館が大きな期待を寄せられていることにほかなりません。

さて、岡山情報ハイウェイは、下の図のように十月から県内各地方振興局及び県立高等学校等を結び、ネットワーク実働の第二段階に入ります。当センターも十月中旬には、所蔵図書検索機能を提供できる見通しであります。これにより、インターネットに接続している個人及び団体は、来館するこ

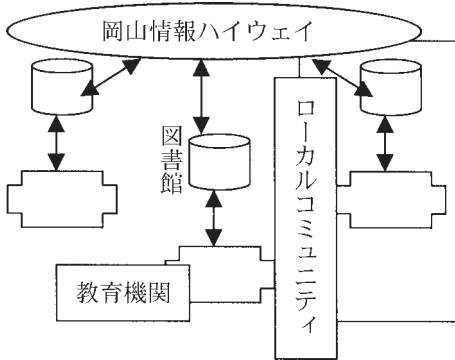


となく当館の図書を検索することができますようになります。空間的・時間的制約が情報ハイウェイによって払拭されることになるのです。高等学校にとつては、自校の図書館と同じ感覚で当館の蔵書が検索できるのですから、県立高等学校図書室が生徒の学習支援ツールとしての役割を果たし、今以上に有効な「学習の場」となることでしょう。

しかし、この環境も「インターネットにつながっている」ことが前提であり、現状では、地方振興局から地方自治体へ、あるいは小・中学校、町村立図書館への接続状況を考えると、「岡山情報ハイウェイ」は乗り入れ道のない

高速道路といわざるを得ないのが残念です。この点では、今後県内の図書館が、管内の小・中学校とのローカルコミュニケーションの拠点となり、情報ハイウェイへの相互乗り入れが可能になるよう努力をしていくべきだと考えます。

このような面からも、真に県民が高速通信網の真価を享受するためには、県内においては県立図書館が、市町村においては市町村立図書館が、『メディアアセンター』としての機能を果たしていくことが重要になってくるのではないのでしょうか。



具体的には、地方振興局からの専用線引込み、市町村の郷土資料

の電子化、小・中学校と連携した教育プログラムの構築、図書館便りのホームページ化、住民参加型の掲示板機能の確立等、各市町村においても「来館者中心のサービス形態」に加えて、ネットワークを活用したサービス形態の模索を開始する時期にあるように思います。もちろん、情報ネットワークが県内くまなく張り巡らされるまでには、まだまだ時間が必要なはいうまでもないことであり、図書館としての「機能」が、急激に変わってしまうものではありません。しかし、だからといって「新しいうねり」を傍観し、世の中の動向を眺めているだけでは、なんの「変化」も望めないのも事実です。

平成十年十月というこの「変化の時」を契機として、今後の「県内図書館ネットワークのあり方」について、考え始めようではありませんか。

そのためのたたき台として、岡山県総合文化センターの提供するシステムや情報ハイウェイ上で提供される市町村の検索システムを大いに活用することを提案したいと思います。

岡山県読書大会

おしらせ

岡山県読書大会実行委員
会では読書週間中の行事の
一環として、今年度の読書大会
を、次のとおり開催します。多く
の方のご参加をお待ちしています。

一、日時

十一月七日(土)
午後一時から四時

二、会場

高梁市文化交流館

三、主催

岡山県読書大会実行委員会

四、実践発表

鴨方読書会

たかはし朗読の会

五、記念講演

「日本のサルと」

マダガスカル「のサル」

講師 島 泰三 氏

六、参加

一般公開・無料

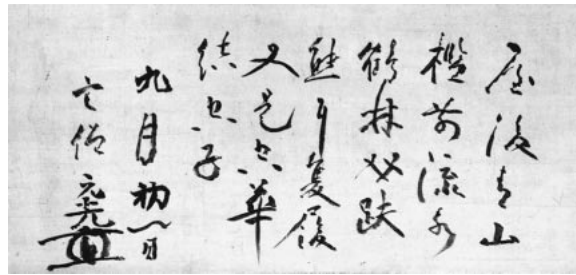
お問い合わせは、岡山県読書大
会実行委員会事務局(普及課内)
まで。

電話番号

(〇八六)二七〇 二二六七一

おかやま人物往来 ④③

寂室元光 (一)



寂室元光遺偈 滋賀県永源寺蔵 重要文化財

「屋後の青山 檻前の流水 鶴
林の双趺 熊耳の隻履 又是れ空
華 空子を結ぶ」

寂室元光が遷化当日、死の直前
にその境地を記した遺偈(永源寺
蔵・重要文化財)である。落款に
は「九月初一日 亡僧元光」と記
す。寂室元光は貞治六年(一一三六
七)のこの日、九月一日に七十八

年の生涯をとじた。

文字に震えはあるものの、その
気迫には見る者に息を飲ませるす
ごさがある。

寂室元光は南北朝時代の臨済宗
の僧で、臨済宗永源寺派の開祖と
して知られる。鎌倉時代末期の正
応三年(一一九〇)美作国高田
(現勝山町)に生まれた。

正安四年(一一三〇二)十三歳の
時出家した寂室は、はじめ京都東
福寺の無為昭元に師事し、やがて
鎌倉禅興寺の約翁徳俊の門に入っ
て元光の名を与えられた。

徳治元年(一一三〇六)徳俊が京
都建仁寺に招かれたのにしたがつ
て京都に移り、京都では、元から
来日して南禅寺住職に迎えられて
いた一山一寧にも師事して鉄船の
法号を与えられている。

わが国の禅宗教団の原形は中国
に求められるが、中国では南宋の
ころ、禅僧たちのなかに、政治不
安や社会の混乱から、わが国に逃
れる者があり、わが国でも上流武
士たちが独自の宗教を求めたこと
もあって、例えば北条時頼に招か
れて大休正念や無学祖元などが来

日した。また、異民族の支配下に
置かれた元の時代には、多くの学
芸に優れた禅僧たちが来日する一
方、わが国内でも中国文化に憧れ
て中国へ渡る僧が増えた。寂室元
光もその一人であった。

寂室は三十一歳の元応二年(一
三三二〇)中峰明本を慕って中国に
渡り、中峰明本のもとで、世俗か
ら離れ、清貧に徹する隠遁の禅を
学んだ。寂室の名前は明本から与
えられた法号である。

お詫びと訂正

先月号表紙へ掲載の、灘崎町
中央図書館紹介で、次の箇所
誤りがありました。

お詫びし訂正いたします。

・誤 「遠隔地区の小学生を対
象にした図書館へのパスの
運行を行い……を図ってい
る」

正 現在は中止し、週一回小
学校四校分校(含む)・中
学校一校への巡回を行って
いる。

・誤 電話(〇八六三六)二 五三七
正 電話(〇八六三六)二 五三七

新着郷土資料紹介

- 備南地域の地方史講座 4 ムル
 デル・たたら製鉄 灘崎を知る会
 編 灘崎を知る会刊 一九九八
 七一頁
- 牛窓町史 資料編3 近代・現代
 牛窓町史編纂委員会編 牛窓町刊 一九九八 一三六八頁
- 早島の歴史2 通史編 下
 早島町史編集委員会編 早島町刊 一九九八 四一三頁
- むかし高野 高野小学校 高野小学校チャレンジ事業担当編 津山市立高野小学校刊 一九九八 九八頁
- 思い出の記 岡山県西大寺中学校第三期卒業五〇周年記念文集
 コーセイカン刊 一九九八 一二二頁
- 玉野むかしちよつとむかし
 ループ絵本の友文 森節子絵 アトリエみずぐるま刊 一九九八 五七七頁
- 岡山のスターウオッチング 山陽新聞社刊 一九九八 一四五頁
- 真実が勝った日 倉敷公害訴訟を闘った医師たちの記録 「真実が勝った日」刊行委員会編 「真実が勝った日」刊行委員会刊 一九九八 三四〇頁
- 岡山県の石造美術めぐり 無言の主にそのあり様を訪ねる 小出公大著 創文社刊 一九九八 九七頁
- 岡山弁 JAGA! ビーろくシリーズ2 青山融著 アス刊 一九九八 二七八頁
- お夏が滝 奇談 恋浮雲研究会編 笑門舎華遊戯作 恋浮雲研究会 一九九八 七三頁
- 風雪 春夏秋冬 勝山町戦没者遺族会事務局編 勝山町社会福祉協議会刊 一九九八 一二〇頁
- 金蛸 煌めきの里哲多町 栗林慧著 哲多町教育委員会刊 一九九八 四〇頁
- 小倉魚木日本画展 高梁市歴史美術館開館一周年記念 高梁市歴史美術館編 高梁市教育委員会刊 一九九八 四五頁
- 岡山市矢藤治山弥生墳丘墓 近藤義郎編 矢藤治山弥生墳丘墓発掘調査団刊 一九九八 一三八頁
- 野田別天楼作品集 川崎泰編 川崎泰刊 一九九八 一三六頁

当館の参考図書 ⑨

- 民族遊戯大事典(大林太良他編 大修館書店 一九九八)
- 世界の諸民族に伝わる遊びを紹介した事典。子供のポピュラーな遊びばかりではなく、ギャンブルや少数民族に伝わっている遊びまで掲載されている。
- 種目編、と各国編の二部構成となっている。
- 種目編では、「カード」や「競走」、「男女の交遊と求愛」といった三十六の項目を紹介している。各国編では、日本をはじめ世界百八カ国・地域の民族と遊びについての記述がある。
- 図や写真も多く使われており、読みやすい事典である。
- 高校野球 甲子園出場校事典 (森岡浩編 東京堂出版 一九九八)
- 昭和四十年以降に甲子園に出場した学校のうち、決勝戦進出校 春夏通算四回以上出場した学校 春夏通算二回以上出場し、五試合以上の戦績のある学校、のいずれかの基準を満たすか、これに準ずる学校三百五十四校を収録している。そのうち岡山県の学校は、八校の収録がある。
- 「歴史」、「戦績」、「記憶に残る名勝負」、「出身OB」といった内容で構成されており、高校野球ファンの記憶を彷彿させてくれる。
- 付録に「出場校一覧」、「名門・強豪校徹底比較」、「ベスト4一覧」、「年度別甲子園出場校一覧」といった興味深い資料も掲載している。
- 海釣り大事典(服部善郎著 廣済堂出版 一九九八)



副題に「海の一〇〇魚種を釣る完全マニュアル」と記されており、そのとおりの内容になっている。

ページ数の大部分を占める第一章では、百種類の各魚種毎に、魚の特徴や釣り方、装備や仕掛けなどについて解説している。大きな図や写真をたくさん使い、わかりやすい解説になっている。

第二章はスポーツフィッシングルール・ブックになっており、各種規定や記録の申請方法などが記されている。

また、「釣りの船の優劣」や「釣った魚をおいしく食べる方法」といったコラムが二十掲載されており、大変おもしろい内容になっている。

随想

倉敷市児島の景勝地「鷺羽山」の頂上付近に、教育委員会によって建てられた平賀元義の歌碑がある。それには、眞委敷田土浦波既見次二行將見永久之山（まぐはしき田土の浦はずで見つ次に行き見ん永久の山）と記されている。「まぐはし」は古語で「美しい」、「うるわしい」の意であるとの丁寧な説明が添えられている。この場所には、



渡部 秀人

「人にやさしい図書館」をめざして

一方、テーマを調査・研究するのに使用する基本的な図書は、手元において繰返し繙くことが出来るようにしておきたいのだが、絶版で書店にないものが多い。そこで、東京出張の際は出来る限り時間をとって神田神保町の古書店巡りをしたものである。各々の専門分野で店が構えられていること、本の知識が豊富で自信を持ってガイドランスしてくれた店員の熱心な態度は今も印象に残っている。また、古書店のネットワーク等この業界の奥深さを垣間見ることが出

値は今後ますます高まるものと考えられるが、利用に際して面倒な手続きをすることなく閲覧することが出来る状態であったことは大変ありがたかった。

さて、鉄鋼会社の情報センターに勤務した経験がある私は、ふとした縁で早島町立図書館のリニューアルオープン（町制施行百周年記念事業）に携わることになった。現在は先達の方々の御指導をいただきながら公共図書館のあり方を追究し、具体化することに全力を傾注している。目標とするところは、「人にやさしい、利用し易い図書館」である。書架のデザイン（展示型・コンパクトでキャパの高い書架）、図書の排架に

来た。古書店巡りをしている、お目あての図書に出会った時は宝物を手にした少年のようで胸がわくわくした。ある時、文庫専門の古書店で斎藤茂吉・杉鮫太郎編註「平賀元義歌集」岩波書店発行（昭和十三年刊）を見つけた時の喜びは、今も新鮮な記憶として残っている。

岡山県総合文化センターに所蔵されている「平賀文庫」の元義自筆原稿は、原典を播く必要が生じる度に利用させていただいた。こうした郷土資料保存の重要性・価値

は今後ますます高まるものと考えられるが、利用に際して面倒な手続きをすることなく閲覧することが出来る状態であったことは大変ありがたかった。

高度情報化社会の到来は、日常生活を大きく変えている。図書館がこうした状況に対応するために岡山県内の図書館（大学を含む）のオンラインネットワーク化が図られ、より一層の流通の迅速化（情報および図書の搬送）が一日も早く実現することを切に願っている。（早島町立図書館長）

友の会だより

文化財めぐり

参加者の募集について

「前島を歩きましょう」

今年の文化財めぐりを次のおと前計画しましたので、お誘い合わせのうえ、ふるって御参加ください。

記

一、期 日

平成十年十一月十八日（水）

二、行 先

邑久郡牛窓町 本蓮寺
前島 石切り丁場跡

三、講 師

若松肇史氏

四、募集定員

（牛窓町教育委員会学芸員）

五十名程度

五、参加費

六千円程度（昼食付き）

六、申込期限

平成十年十月三十日（金）

七、申込方法

直接電話で本人が会員番号氏名等でお申し込みください。

友の会事務局

（〇八六）二二四 一一八六

平成10年

11月の催物案内

岡山県総合文化センター

ギャラリー

期 日	催 物	入 場 料	主 催 者	展 示 室
10/27~11/1	公 募 第20回 玄画会 展覧会	一 般 500円 会 員・老 人・高 校 生 以 下 無 料	玄 画 会	第 1 展 示 室
	第17回 春陽会瀬戸内作家展	無 料	丘 陽 会	第 2 展 示 室
	第 8 回 白 日 会 岡 山 支 部 展	無 料	白 日 会 岡 山 支 部	第 2 展 示 室
11/3~11/8	第11回 水墨画虎杖会展	無 料	水 墨 画 虎 杖 会	第 1 展 示 室
	第 9 回 日 本 画 朱 の グ ル ー プ 展	無 料	朱 の グ ル ー プ	第 1 展 示 室
	第34回 岡山彫刻会展	無 料	岡 山 彫 刻 会	第 2 展 示 室
11/10~11/15	第22回岡山県高等学校総合文化祭書道部門	無 料	岡 山 県 高 芸 連 書 道 部 会 (岡 山 県 高 校 書 道 連 盟)	第 1 展 示 室
	第12回 岡山県高校生書道展覧会	無 料	岡 山 県 高 校 書 道 連 盟	第 1 展 示 室
	日本写真会 第71回全国展	無 料	日 本 写 真 会 岡 山 支 部	第 2 展 示 室
11/17~11/22	第48回 岡山県勤労者美術展	無 料	(助) 岡 山 県 勤 労 者 福 祉 協 議 会	第 1 展 示 室 第 2 展 示 室
11/24~11/29	第35回 岡山県書道協会展	無 料	岡 山 県 書 道 協 会	第 1 展 示 室
	第 9 回 創 彩 展	無 料	創 彩 会	第 1 展 示 室
	第16回 ODA(岡山デザイナーズ協会)展	無 料	岡 山 デ ザ イ ナ ー ズ 協 会	第 2 展 示 室
	新 紀 会 展	無 料	新 紀 会	第 2 展 示 室

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です

ホール(固定席282席)

日(曜)	催 物	時 間	入 場 料	主 催 者
10/31(土) 11/1(日)	第296回 文化センター土曜劇場 CARATプロジェクトカンパニー公演 (道化の華)	18:00~20:30 13:00~15:30	前一般 1,500 学生 1,000 当一般 1,800 学生 1,200 会員無料	岡 山 県 総 合 文 化 セ ン タ ー
11/7(土)	OTSシンフォニーコンサート	16:00~18:00	無 料	OTSコンサート実行委員会 岡山県小学校教育研究会音楽部会
11/8(日)	ピアノ発表会(Little Piano Concert)	13:00~16:00	無 料	リトルピアノコンサート
11/15(日)	第39回 中学生ライシャワーカップ スピーチコンテスト	9:30~17:00		(助) 日 米 文 化 協 会
11/21(土)	ライオンズクラブ	10:00~16:00	無 料	軽音ブルース
11/22(日)	合同ピアノ発表会	13:00~16:00	無 料	合同ピアノ発表会
11/28(土) 11/29(日)	第297回 文化センター土曜劇場 劇団：銀仮面団公演 (青春巖流島)	14:00~16:00 18:30~20:30 14:00~16:00	前一般 1,500 当一般 2,000 会員無料	岡 山 県 総 合 文 化 セ ン タ ー

会員...文化センター友の会及び文化振興会会員

催物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。

評家の力作は好評でした。

試みで、各作の

ない初めての

今までに例の

の企画展は、

するとうこの

刻作品を展示

素材を木・石・金属に限定した彫

ました。(会期は十月十一日まで)

岡山・彫刻選抜展を開催いたし

九月三十日に《アートウエーブ

ます。

なエリゼッテ

さんと楽しい

時間をすごし

て、子供たち

が絵本やブラ

ジルという国

に親しみをも

つきつかけと

なればと願

ます。

「世界お話の旅」プ

ラジル編を九月二十六

日(土)に開催しました。

講師にエリゼッテ・和

美・渡辺さんを迎え、

絵本の読み聞かせや、

ブラジルの歌や言葉な

どを教えていただきま

した。また、遊びの

コーナーで子供たちは

「エスクラボス・デ

